

# 彩の歳時記

平成二十九年 三月

ひしかたの光のどけき春の日にしず心なく花の散るらん

紀友則【c.~905】

世の中に絶えて桜のなかりせば春の心はのどけからまし

在原業平【825~880】

(もし桜がなかったら、どんなにか春をのどかに過ごせるだろうか)

反歌に「散ればこそ いとど桜はめでたけれ 憂世になにか久しかるべき」

(桜は惜しまれて散るからこそ素晴らしいのだ、世に永遠なるものは何もない)

さまざまなこと思ひ出す桜かな

松尾芭蕉【1644~1694】

所々で早い桜が咲き始め、春の訪れを感じる三月。陽射しは日々、力強くなり、手袋を外しコートを脱ぎ、背を伸ばしたくなります。桜の開花と共に動く心は、古今を問わず変わることなく、その心象風景を詠った歌・俳句・散文などは多く、今も私達の心を動かし続けてくれます。

## 三月の暦

弥生 草木が弥生える月。花月・桜月・桃月。

## 三日 桃の節句・上巳の節句・雛祭

五節句【他・一月七日・五月五日・七月七日・九月九日】の一つ。

上巳は三月の己(み)の日。元は身の穢れを洗い流す平安時代の儀礼で穢れを落とした人形を海や川に流した。旧暦では現在の四月上旬あたりで桃の花も開く頃。江戸時代には銭湯で桃の葉を浮かべ「桃の湯」に入るのが流行。昔話の桃太郎が鬼を退治するのは「桃」が災いを追い払う事に因る。「桃の湯」を楽しみ、長寿を保つ桃の花酒を飲むのも一興。雛祭る節句になりて春の雪 正岡子規

## 五日

啓蟄【二十四節気】啓は啓く。蟄「冬眠の虫」が暖かさに大地を啓いて穴から出てくる

## 十日

◆東京都平和の日 都民が平和について考える日として1990年に制定。

◆東京大空襲記念日 1945(昭和20)年、米軍B29の爆撃により、死者約10万人、焼失家屋約21万戸という、第二次大戦で最大級の被害を出した。

## 十一日

◆東日本大震災は、2011年(平成23年)のこの日、14時46分18.1秒、太平洋三陸沖を震源としてマグニチュード9.0の地震発生。日本観測史上最大の超巨大地震であった。死者・行方不明者は約一万九千人以上、建物は大壊・半壊あわせて三十八万戸以上。福島第一原子力発電所のメルトダウン事故が発生。以来六年の歳月を経て、なお傷跡は深く。

## 十二日

お水取り 奈良東大寺二月堂の年中行事。正確には「修二会」。

例年、三月一日から十四日まで本行が行われ、終わるころには冬が明けていることから、春を告げる行事と言われる。夜、籠松明(かごたいまつ)を掲げ回廊を駆け抜ける僧から火の粉を浴びると除災になると言われ多くの観光客で賑わう。

## 十四日

ホワイトデー 1978年に始まったバレンタインのアンサーデー。砂糖の白に由来。

## 十七日

彼岸の入り【雑節】 彼岸の明けは二十二日。墓参(先祖供養)をする。

## 二十日

春分の日【二十四節気】 春彼岸の中日。昼夜の長さがほぼ等しく

「暑さ寒さも彼岸まで」というように寒さも和らぐ時期。

## 二十六日

楽聖忌 「田園・第九・皇帝・月光」など多くの交響曲を

作曲し「楽聖」と呼ばれた独人・ベートーベン【1770~1827】

の忌日。ウィーンの自宅で亡くなる三日前に呟いたと言われる言葉に「諸君、拍手したまえ。喜劇は終わったのだ」

## 三月の歌

桜坂 二〇〇〇年 詞・曲 福山雅治

曲名のモデルの一つとなった大田区の東急多摩川線の沼部駅近く田園調布本町に実在する桜坂は注目を浴び、多くの人が訪れる人気スポットに。普段は閑静な住宅街の坂道が、桜の季節の二週間程桜のトンネルのような景観を創り出し、人の目を楽しませている。



君よずっと幸せに  
風にそっと歌うよ  
愛は今も愛のまま  
揺れる木漏れ日 薫る桜坂  
悲しみに似た 薄紅色  
君がいた 恋をしていた  
君がいた 恋をしていた  
ひとつになれず  
愛と知っていたのに  
春はやってくるの  
夢は今も夢のまま

